

第17回「総合的な学習の時間」

プレゼンテーションを実践しよう



芝浦工業大学柏中学高等学校

本時の内容

1. 探究Dayとは
2. プレゼンテーションの秘訣
3. プレゼンテーション実践
4. 今後の予定

本時の内容

1. 探究Dayとは
2. プレゼンテーションの秘訣
3. プレゼンテーション実践
4. 今後の予定

1. 探究Dayとは

探究Dayとは



探究Day 芝浦工業大学柏
中学高等学校

ともに学び、
ともに深める。
だから、
探究はもしろい。

2025年11月8日(土)
小・中学生の部 9:30~12:00
高校生の部 13:30~15:50

内容
ポスターセッション形式による探究成果発表会
(探究の途中経過を発表することも歓迎いたします)

発表対象者 小学生・中学生・高校生
観覧対象者 小学生・中学生・高校生
教育関係者・保護者

お問い合わせ
芝浦工業大学柏中学高等学校
〒277-0033 千葉県柏市堀尾 700
TEL:04(7174)15100
e-mail:koshinot@ka.shibaura-it.ac.jp
探究科主任 高野貴嗣

当日の詳細
発表申込はこちら
申込期限10/11(土)

当日の詳細
観覧申込はこちら
申込期限11/1(土)

- ・11月8日(土)実施
- ・今年2025年度が初実施！！
- ・午前 小学生・中学生の部
午後 高校生の部

1. 探究Dayとは

探究Day実施の趣旨



探究Day 芝浦工業大学柏
中学高等学校

ともに学び、
ともに深める。
だから、
探究は面白い。

2025年11月8日(土)
小・中学生の部 9:30～12:00
高校生の部 13:30～15:50

内容
ポスターセッション形式による探究成果発表会
(探究の途中経過を発表することも歓迎いたします)

発表対象者 小学生・中学生・高校生
観覧対象者 小学生・中学生・高校生
教育関係者・保護者

お問い合わせ
芝浦工業大学柏中学高等学校
〒277-0033 千葉県柏市堀尾 700
TEL:04(7174)5100
e-mail:koshinot@ka.shibaura-it.ac.jp
探究科主任 高野貴嗣

当日の詳細
発表申込はこちら
申込期限10/11(土)

当日の詳細
観覧申込はこちら
申込期限11/1(土)

- ・探究の途中経過や成果を発表し合う
- ・他者の学びに触れることで
視野を広げる
自らの学びをさらに深める

1. 探究Dayとは



探究Day＜小学生・中学生の部＞時程

時間	中2生徒の動き
8:25-9:00	受付準備/開会式準備
9:00-9:10	外部発表者の受付・案内
9:10-9:25	外部観覧者の受付・案内
9:30-10:00	開会式
10:05-11:05	発表
11:10-11:25	閉会式
11:30-12:00	交流会
12:00-12:30	片付け
12:30-12:40	帰りHR後、下校

探究Dayの運営は
すべて中学2年生が実施！

1. 探究Dayとは



探究Day<小学生・中学生の部>時程

ポスターセッション形式での発表

6分発表・6分質疑・3分入れ替えて、

ポスター番号が「奇数番号」(1, 3, ...)と「偶数番号」
(2, 4, ...)に分かれて一斉発表

10:05-10:20 奇数番号 1回目

10:20-10:35 奇数番号 2回目

10:35-10:50 偶数番号 1回目

10:50-11:05 偶数番号 2回目

1. 探究Dayとは

探究Day<小学生・中学生の部>発表者



探究Day 芝浦工業大学柏
中学高等学校

ともに学び、
ともに深める。
だから、
探究は面白い。

2025年11月8日(土)
小・中学生の部 9:30~12:00
高校生の部 13:30~15:50

内容
ポスターセッション形式による探究成果発表会
(探究の途中経過を発表することも歓迎いたします)

発表対象者 小学生・中学生・高校生
観覧対象者 小学生・中学生・高校生
教育関係者・保護者

お問い合わせ
芝浦工業大学柏中学高等学校
〒277-0033 千葉県柏市堀尾 700
TEL:04(7174)5100
e-mail:koshinot@ka.shibaura-it.ac.jp
探究科主任 高野貴嗣

当日の詳細
発表申込はこちら
申込期限10/11(土)

当日の詳細
観覧申込はこちら
申込期限11/1(土)

<小学生・中学生の部>

- ①本校中2生徒
- ②本校中1生徒
- ③外部(小学生)
- ④外部(中学生)

1. 探究Dayとは

探究Day<小学生・中学生の部>観覧者



探究Day 芝浦工業大学柏 中学高等学校

ともに学び、
ともに深める。
だから、
探究はおもしろい。

2025年11月8日(土)
小・中学生の部 9:30~12:00
高校生の部 13:30~15:50

内容
ポスターセッション形式による探究成果発表会
(探究の過程経過を発表することも歓迎いたします)

発表対象者 小・中学生・高校生
観覧対象者 小・中学生・高校生
教育関係者・保護者

お問い合わせ
芝浦工業大学柏中学高等学校
〒277-0033 千葉県柏市船堀 700
TEL:04(7174)5100
e-mail:koshinot@ka.shibaura-it.ac.jp
探究科主任 高野貴嗣

当日の詳細
発表申込はこちら
申込期限10/11(土)

当日の詳細
観覧申込はこちら
申込期限11/1(土)

<小学生・中学生の部>

- ①本校中1生徒
- ②本校保護者
- ③外部(児童生徒・保護者)
- ④外部(教育関係者)

1. 探究Dayとは

探究Dayは、教科を越えた、みんなの学びの日！



芝柏中1・友人・来場者みなさんの
学び場になるように、
「来てよかった！」と思われる1日を、
中学26期みんなで提供しよう😊

先輩かっこいい！

芝柏すごい！

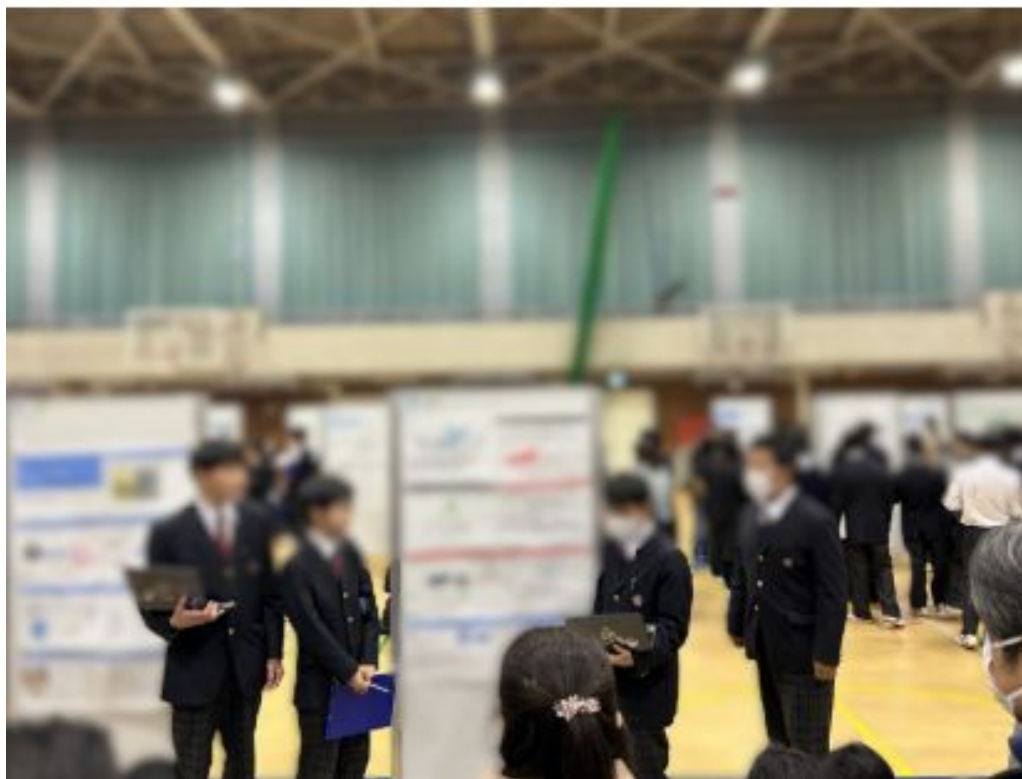
こんな研究あるんだ！おもしろい！

本時の内容

1. 探究Dayとは？
2. プレゼンテーションの秘訣
3. プレゼンテーション実践
4. 今後の予定

11/8(土)探究Dayについて

体育館でポスターセッション形式で実施する



- ポスターセッション形式
- 発表時間6分
- 質疑応答6分

※今日の授業では

質疑応答3分＋入替1分

本時のめあて

本番の成功のために、聞き手との最高の「コミュニケーション」を完成させよう！

よいプレゼンとは？

× 一方的に話す



◎ 聞き手と心を通わせる



プレゼンのコミュニケーションは、
2つのパートでできています。

プレゼンの2つのパートとは？

①前半戦：心を動かすプレゼンテーション

②後半戦：対話が深まる質疑応答

①前半戦：心を動かすプレゼンテーション

②後半戦：対話が深まる質疑応答

心を届ける7つの「話し方」

声量	大きすぎず、小さすぎず、適度な声の大きさで
明瞭さ	はっきりと明確に話す
速さ	速すぎず、遅すぎず、適度な速さで
抑揚	一本調子にならないよう強調すべき点を強調
間の取り方	話の区切りや強調する点を明確にするような間
言葉遣い	丁寧に誠意を持って伝える気持ちをもつ
話しぐせ	「えー」など気になる話しぐせを極力抑える

信頼を創る7つの「態度」

ジェスチャー	適切な身振り手振りは、話を分かりやすくする
アイコンタクト	聞き手に向かって話し、視線を合わせる
身体の向き	スクリーンではなく聞き手の方に身体を向ける
立ち位置	スクリーンに重ならないような位置に
姿勢	話しているときだけでなく常に姿勢を正す
表情	基本的には、にこやかに、表情をつけて話す
服装	だらしない恰好は、話の説得力を低下させる

前半戦： 基本テクニック

Point1 1文はできるだけ短く

Point2 時々聞き手に質問を投げかける

「みなさんならこの問題をどう解決しますか？」

①前半戦：心を動かすプレゼンテーション

②後半戦：対話が深まる質疑応答

質疑応答は「宝探し」の時間

①発見の宝！

発表者も気付いていない新しい視点を届けよう。

②理解の宝！

みんなの「なるほど！」を増やそう。

③仲間の宝！

お互いをよりよく知るきっかけにしよう。

質問者のための「宝の地図」

質問を見つけるヒント

自分ならどうするかな？ と考える

自分の興味と関係あるかも？ とつなげる

緊張したらこの言葉から！

「(発表ありがとうございました)」

〇〇について、もう少し詳しく教えてください」

発表者の質疑応答 「神対応」3フレーズ

- ・感謝で心をつかむ！ 

「ご質問ありがとうございます！」

- ・確認でズレをなくす！ 

「〇〇というご質問ですね？」

- ・誠実さで未来を見せる！ 

分からなくてもOK！「今後調べてみたいです」

本時の内容

1. 探究Dayとは
2. プレゼンテーションの秘訣
- 3. プレゼンテーション実践**
4. 今後の予定

3. プレゼンテーションの実践

SSコンピテンシー

芝柏の教育活動全体を通して育む資質・能力

育成すべき資質・能力		概要
研究 基礎 力	 教科の知識・技能	各教科の学習を通じて獲得する知識・技能。 SSコンピテンシーの根幹であり、より専門的な知識の獲得、新しい知識の創造における基盤となる。
	 教科等横断的な知識・技能	各学問分野の原理や概念、コンテンツを、別の学問分野の内容と関連づける知識・技能。 複雑化する問題に対して解決策を見出すために必要な新しい知識を生み出す力。「教科の知識・技能」が前提となる。
	 手続き的知識	知識を活用するための様々な方法やプロセスについて理解し、実践できる力。 様々な学びに応用できる思考パターン（デザイン思考やシステム思考、またはその過程における手続き）についての知識。
問題 発見 力	 仮説構築力	観察や情報から問題解決のための仮説を立てる能力。 (問題の把握、目標の設定と研究の方向性確認、複数の解決法発想、関係要因・関連変数の予測ができる)
	 批判的思考力	情報を分析し、論理的に評価することで判断する力。 (複雑な問題について順序立てて考える、客観的な態度で解釈・判断する、結論をくだす際に証拠を重視することができる)
	 メタ認知能力	自分の学習や思考プロセスを自覚し、調整する能力。 (活動の過程をふりかえる、評価・分析する、そのうえで次の一手としてより良い手段をとることができる)
問題 解決 力	 協働する力	他者と協力し、共に成果を上げる能力。 (協働学習・グループワークの重要性を認識する、適切に自分の個性を活かしながら他者と関わることができる)
	 表現力	コミュニケーションをとる相手の状況をふまえて、思考や感情を的確に伝える力。 (要点の整理、適切な話し方・発表の仕方についての工夫、図や表を上手に用いた発表ができる)
	 情報活用能力	情報を適切に収集、分析し、有効に活用する力。 (メディアの特性をふまえた情報収集、表やグラフでの整理、統計分析、目的や意図に応じた媒体利用と表現、クラウドの利活用ができる)
自律 的 活動 力	 未知への好奇心	新しいことへの探究心や挑戦する意欲。 (何事にも興味関心を持つ、未経験の課題にもよるこんで取り組む、新たな事柄に対しても楽しんで取り組む姿勢をもつ)
	 粘り強さ	困難に直面しても諦めずに取り組む姿勢。 (明快な答えが出るまで考える、物事を学ぶときは徹底的に調べる、予期しない出来事は原因がわかるまで調べる姿勢をもつ)
	 社会に開かれた姿勢	社会の一員としての自覚と責任感を持ち、積極的に関わる態度。法人の理念「社会に学び、社会に貢献する技術者の育成」の実現。 (自己の学びと社会事象とのつながりを意識する、研究の正確さ・正当性を高め倫理を遵守する姿勢をもつ)

SSコンピテンシー

研究基礎力(「知識・技能」)

	教科の知識・技能	各教科の学習を通じて獲得する知識・技能 SSコンピテンシーの根幹であり、より専門的な知識の獲得、新しい知識の創造における基盤となる。
	教科等横断的な知識・技能	各学問分野の原理や概念、コンテンツを、別の学問分野の内容と関連づける知識・技能 複雑化する問題に対して解決策を見出すために必要な新しい知識を生み出す力。「教科の知識・技能」が前提となる。
	手続き的知識	知識を活用するための様々な方法やプロセスについて理解し、実践できる力 様々な学びに応用できる思考パターン(デザイン思考やシステム思考、またはその過程における手続き)についての知識。

SSコンピテンシー

問題発見力(「思考・判断・表現」)

	仮説構築力	観察や情報から問題解決のための仮説を立てる能力 (問題の把握、目標の設定と研究の方向性確認、複数の解決法発想、関係要因・関連変数の予測ができる)
	批判的思考力	情報を分析し、論理的に評価することで判断する力 (複雑な問題について順序立てて考える、客観的な態度で解釈・判断する、結論をくだす際に証拠を重視することができる)
	メタ認知能力	自分の学習や思考プロセスを自覚し、調整する能力 (活動の過程をふりかえる、評価・分析する、そのうえで次の一手としてより良い手段をとることができる)

SSコンピテンシー

問題解決力(「思考・判断・表現」)

	協働する力	他者と協力し、共に成果を上げる能力 (協働学習・グループワークの重要性を認識する、適切に自分の個性を活かしながら他者と関わることができる)
	表現力	コミュニケーションをとる相手の状況をふまえて、思考や感情を的確に伝える力 (要点の整理、適切な話し方・発表の仕方についての工夫、図や表を上手に用いた発表ができる)
	情報活用能力	情報を適切に収集、分析し、有効に活用する力 (メディアの特性をふまえた情報収集、表やグラフでの整理、統計分析、目的や意図に応じた媒体利用と表現、クラウドの利活用ができる)

SSコンピテンシー

自律的活動力(「主体的に学習に取り組む態度」)

	未知への好奇心	新しいことへの探究心や挑戦する意欲 (何事にも興味関心を持つ、未経験の課題にもよろこんで取り組む、新たな事柄に対しても楽しんで取り組む姿勢をもつ)
	粘り強さ	困難に直面しても諦めずに取り組む姿勢 (明快な答えが出るまで考える、物事を学ぶときは徹底的に調べる、予期しない出来事は原因がわかるまで調べる姿勢をもつ)
	社会に開かれた姿勢	社会の一員としての自覚と責任感を持ち、積極的に関わる態度。法人の理念「社会に学び、社会に貢献する技術者の育成」の実現 (自己の学びと社会事象とのつながりを意識する、研究の正確さ・正当性を高め倫理を遵守する姿勢をもつ)

本日の発表の流れ

①発表(6分)

②質疑応答(3分)

③入替(1分)

観点	S (素晴らしい)	A (よくできている)	B (あと一歩)	C (今後に期待)
1. 構成のわかりやすさ	目的から考察まで論理的に結びつき、構成が一貫しており、全体像がわかりやすい。	全体の流れは明確だが、	必要な要素は含まれている	各要素のつながりがなく構成が全
2. 課題の背景とリサーチクエスチョン	詳細な先行研究や事実から、さまざまな観点から何を明らかにしたいのかを明確に説明できている。			かが事実して
3. 研究の意義	自分たちの探究活動がどのような貢献をすることができるか説明できている。			また明が

全チームの発表最後、
自分たちの発表を
振り返ってみよう。
該当の箇所に○をつける。

本時の内容

1. 探究Dayとは？
2. プレゼンテーションの秘訣
3. プレゼンテーション実践
4. 今後の予定

4. 今後の予定



今後の予定

次回の授業は探究Dayです！ 自分の研究を聞き手にしっかり届けよう。

第15回	発表原稿作成
第16回	スライド作成 (※発表原稿完成)
第17回	発表練習 (※スライド完成)
第18回	探究Day